

## こころねインタビュー

素心とご縁をいただいたたくさんの人たちの、声にはならない心の声



kokorone1

上品で女性らしい、  
母のような仏壇です。

和田谷行央さん・美和子さん  
兵庫県姫路市

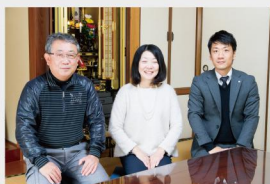
素心でお仏壇を買っていただいた和田谷さんご夫妻（姫路市）に、お仏壇のある暮らしについて伺いました。

行央さん

昨夏に亡くなった母は、とても社交的な人。人と話すのが大好きで、妻がよく話し相手になっていました。母が生前、「仏壇は小さいのでいい」と言っていたのを思い出しながら、仏間の大きさにあうものを探しました。ほどよいサイズのものが2基ありましたが、私たちが一目惚れしたのは今の仏壇。上品で女性らしいたたずまいで、なんというか、母の雰囲気似ている感じがしたんですね。今は毎朝、感謝の気持ちを込めて手を合わせています。手を合わせていると、やっぱり落ち着きますし、一日にメリハリがつくんです。

美和子さん

お仏壇は、ずっとおつきあいしていくものなので、そこにあるだけで癒やされるというか、やすらぐものがあるかなと思っていました。ちょっと時間があると仏壇をお掃除しながら、心の中でお母さんのことを思い出します。娘たちも折にふれて手を合わせているようです。

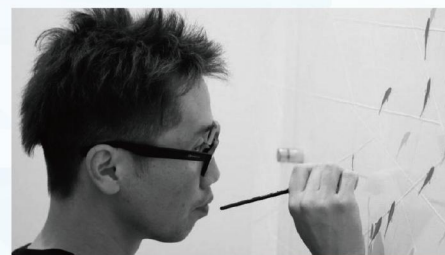


仏間のサイズにあわせて、仏壇に台座も作ってくれたのでほどよくおさまりました。担当の玉川さんが「この仏壇はここに入るためにあったのかもしれないね」と、ずっと仰っていたのが印象に残っています。

## 温 故 知 新



未来を担う職人を  
クローズアップ



漆作家

江藤 雄造

yuzo eto

確かな腕と自由なアイデアで、  
漆工芸に新しい息を吹き込む

素心とご縁のある職人さんを紹介するこのコーナー。記念すべき第一回目は江藤雄造さん（37）です。「父が漆職人だったので子供のころから漆には慣れ親しんでいましたよ」と語る江藤さんは、漆や蒔絵といった伝統工芸と新たなアートやデザインを掛け合わせて活躍する、姫路が国内外に誇る新進気鋭の漆芸作家です。重要文化財級の仏像や寺社仏閣の修復だけにはとどまらず、ガラスなどの異素材とのコラボレーション、ホテルの演出、ミラノやドバイなどでのデザイン展への出品など、精力的に漆の魅力を伝える活動に取り組んでいます。そんな多忙な日々を過ごす江藤さんですが、素心加古川店では毎月金継ぎ教室を開催。参加者の方々には大好評で毎回定員を超える盛況を博しています。「地元播磨の人たちに、少しでも漆の奥深さやすばらしさを身近に知ってほしいです。」と笑顔で語る江藤さん。



興味のある方は素心加古川店にお問い合わせください。奥深い伝統工芸の世界を気軽に体験できる上に、明るく優しい江藤さんの人柄に触れることができ、素敵な時間を過ごせるはずです。

金継ぎ教室のお問い合わせは加古川店へ→0120-20-9988